



報道機関 各位

<タイトル>

鴨川市・身延町姉妹都市交流事業を実施

<サブタイトル>

市内小学生が身延町を訪問し地元児童との交流会や歴史・文化体験に参加します。

鴨川市は10月17日から18日までの間、姉妹都市である山梨県南巨摩郡身延町との交流事業を実施します。

この事業は、本市児童が1泊2日の日程で身延町を訪問し、地元児童との交流会のほか、みのぶフェスの見学や宿坊体験、写経体験、身延山久遠寺の見学などで身延町の歴史や文化への理解を深めることなどを目的とするものです。

本事業のメインとなる「交流会」は17日の午後、みのぶフェス会場内の広場で行われ、会場では、両市町の児童併せて40人が、「ダッシュマン」と呼ばれるゲームや、身延町のブランド大豆を使ったゲームなどで交流を深めます。

この事業は、昭和46年3月18日の旧天津小湊町と旧身延町による、日蓮聖人誕生750年を記念した姉妹町協定に基づき開始され、旧天津小湊町時代の昭和48年度から平成17年度までの間、中学2年生による交流が実施されました。

合併後の鴨川市においても、市民による文化・スポーツ交流が行われましたが、身延町における学校統廃合や本市における令和元年房総半島台風の影響、全国的なコロナ禍の影響により、平成24年度から令和5年度までは中断されました。

その間も事業再開に向けた両市町の協議は継続し、令和6年度には、身延町からサッカースポーツ少年団が本市を訪れ、本市サッカースポーツ少年団と試合を行うなどして交流事業が再開されました。

また、以降の交流事業は隔年実施とし、令和8年度は鴨川市から身延町へ、10年度は身延町から鴨川市へ相互派遣をすることが、両市町の協議により確認されています。

事業に参加するのは市内小学5・6年生20人で、36人の申込者の中から抽選により選ばれました。

去る8月5日には、参加児童と保護者を対象とした事前説明会を開催し、日程や活動内容、注意事項等について担当職員の説明や質疑応答を行いました。

参加児童は、「身延町でたくさんの友達を作りたい。」、「宿坊体験が初めてで楽しみ。」、「出発までに身延町のことを勉強します。」などと抱負を話していました。

蒔苗茂教育長は、「本市児童が身延町の魅力について理解し、友好親善を深めつつ、宿泊を伴う集団生活を通じて、協力の大切や思いやりの心が育まれ、児童の世界観が広がる契機となるよう、事業の成功に万全を期して参りたい。」とコメントしています。

なお、事業の概要は次ページのとおりです。

- 1 日時 令和8年10月17日（土）から18日（日）まで1泊2日
- 2 場所 山梨県南巨摩郡身延町
- 3 宿泊先 身延山宿坊「清水房」
- 4 主な訪問先
 - （1） 富士川クラフトパーク（みのぶフェス・交流会場）
 - （2） 身延山（久遠寺・奥之院・ロープウェイ）
 - （3） 湯之奥金山博物館（砂金採り体験）
- 5 参加者 25人
【内訳】
 - （1） 市内小学5・6年生＝20人（男子10人、女子10人）
 - （2） ・ 引率者＝4人（生涯学習課職員及び学校教育課職員）
・ 運転手（民間貸切バス）＝1人
- 6 車両 2台【民間貸切バス（中型）・普通車公用車】
- 7 参加費 無料
- 8 主な活動内容
 - （1） 1日目 みのぶフェス見学、交流会、写経体験、宿坊体験
 - （2） 2日目 身延山久遠寺朝の打鐘見学、朝のおつとめ参加、身延山ロープウェイ乗車、身延山奥之院見学・砂金採り体験

問い合わせ

教育委員会 生涯学習課

担当：岡安・鈴木・長幡

電話 04-7094-0515